

区の目標

「住んでよかった、住み続けたい東淀川区」の実現

5つの経営課題

【魅力あるまちをつくろう！部会】

1. 自助・共助を担う地域力と、
にぎわいのある元気なまち

- (1) 自助・共助を担う地域力のあるまち…2p
- (2) にぎわいのある元気なまち…3p

【教育・健康・福祉部会】

3. 福祉と健康にみんなで取り組むまち

- (1) 共に支え合い共に生きるまち…6p
- (2) いきいきと暮らす健康づくりに取り組むまち…7p

【魅力あるまちをつくろう！部会】

5. 区民の役に立つ区役所があるまち

【教育・健康・福祉部会】

2. こども・青少年の健全育成に地域
が一体となって取り組んでいるまち

- (1) こどもとおとながお互いに元気になるまち…4p
- (2) すべてのこどもが「生きる力」を身につける「子育て」、
「共育」のまち…5p

【安全・安心部会】

4. 安全・安心のまち

- (1) 防災意識が高いまち…8p
- (2) 防犯意識が高いまち…9p
- (3) 交通安全への意識が高いまち…10p

- (1) 区民ニーズを的確に把握し反映する住民参画型の区政運営…11p
- (2) 伝えて、行動につなげる情報発信力の強化…12p
- (3) 快適・迅速・確実な窓口サービス…13p
- (4) 区民の役に立つ区役所を担う職員づくり…14p

経営課題1-1

自助・共助を担う地域力のあるまち

検討項目

地域活動協議会を中心とした地域活動への支援

地域担当制による協働のまちづくり

区地域保健福祉計画に基づく地域の取り組みへの支援

具体的取組

統計データを分析した地域カルテの活用、作成支援 **実施**

自主財源の確保に繋がる取組の支援 **実施**

地域活動協議会の機能や役割の周知・普及 **4回実施**

情報発信力の向上を支援
広報勉強会・SNS講座 **2回実施**

転入者パックに封入する地域活動協議会の活動紹介パンフレットや区広報紙、ホームページ、SNSをはじめ様々な媒体や庁内のスペースを活用した広報 **実施**

地域防災力向上にむけた支援
平常時から知識の習得と地域との連携・協働 **9回実施**

地域担当職員防災研修 **1回実施**

地域の避難所開設訓練等へ参画
避難所運営を支援 **実施**

担当地域の防災の取組状況を把握 **実施**

職員がeラーニング受講
地域担当連絡会議で説明 **実施**

地域別の統計データの分析支援 **実施**

意見交換会等の実施 **6回実施**

区社会福祉協議会等との連携 **実施**

プロセス(過程)指標

単年度目標

振り返り結果

地域活動協議会の構成団体が、自分の地域に即した支援を受けることができていると感じた割合：80%以上 **プラン 2.0**

54.4%
未達成

市の支援内容を発信し、自律的・民主的に地域課題の解決を図れるよう支援

地域活動協議会を知っている区民の割合：40%以上 **プラン 2.0**

41.3%
達成

地域活動協議会の構成団体が、地域活動協議会に求められている総意形成機能を認識している割合：75%以上 **プラン 2.0**

71.9%
未達成

地活協に求められる総意形成機能について発信

地域づくりアドバイザーによる支援を受けた団体が、支援に満足している割合：75%以上 **プラン 2.0**

47.0%
未達成

・地域づくりアドバイザーについて発信
・実情に即した支援

区が関与したCB/SB起業件数及び、社会的ビジネス化事業創出件数：4件 **プラン 2.0**

0件
未達成

CB/SBの取組事例等の有用な情報を提供し、活動支援

地域担当職員における支援が役立っていると感じる地域活動協議会の割合：89%以上

82.3%
未達成

・連絡会議等で地域担当職員の役割周知
・地域担当職員の研修を実施

地域を担当する職員のeラーニング受験率及び理解度：受験率100% かつ 理解度全員95点以上 **プラン 2.0**

受験率：100%(62名)
95点以上：100%(62名) **達成**

地域別計画策定に向けた地域での意見交換等を新たに実施した地域：3地域以上

0地域
未達成

・アンケート調査を実施、地域ニーズに応じた学習会等を開催
・地域福祉コーディネーターとの連携
・第2期区計画策定作業の中で、地域別計画の今後の方向性の検討実施

アウトカム
(中長期的指標)

●地活協の議決事項・事業計画・予算・決算書が広報紙・web媒体により広く公開されている地域：元年度末までに17/17地域

5/17地域

●新たな参加者、担い手が増えたと感じられる地域：元年度までに17/17地域

10/17地域

●地域版保健福祉計画策定に向けて議論している地域：5年度末までに17/17地域

3/17地域

順調でない

単年度
目標

振り返り結果

プロセス(過程)指標

具体的取組

検討 項目

経営課題1-2

にぎわいのある
元気なまち

複数年度目標

アウトカム (中長期的指標)

東淀川区は様々な魅力を活かし、多様な主体が連携したまちだと感じる区民の割合：元年度末までに70%以上

29.7%
(区民アンケート391名のうち)

順調でない

新たな担い手の発掘支援と
地域・企業・教育機関・行政
の連携による
魅力あるまちづくり

まちの魅力発信

西部地域まちづくり
区民による

区民まつりの支援(実行委員会を中心に区民や様々な機関が連携し、地域の魅力発信・世代を問わず楽しめる場) **実施**

東淀川みらいEXPOの開催 **2回開催**

東淀川区魅力発見プロジェクトの支援
会議12回・イベント1回開催

BCP学びの場の開催 **2回開催**

東淀川区の魅力あるスポット等についてのチラシを転入者パックに同封し周知(チラシ内容の精査) **実施**

区役所内に魅力あるスポット紹介コーナーなどの設置 **実施**

大学等と連携し区内のスポットを巡るなどのイベント等を実施 **1回実施**

協議会(部会)を開催 **6回開催**

各種事業の参加者へのアンケートで「地域のまちづくりに関する活動が、地域・企業・教育機関・行政等様々な活動主体の連携によって進められている」と答えた区民の割合：83%以上

87.8%
達成

新たに地域活動協議会とNPO・企業等とが連携した取り組み：5件
プラン2.0

7件
(広報紙の企業への配架協力 他)
達成

東淀川区の歴史やスポットについて知っている区民の割合：35%以上

37.7%
(区民アンケート374名回答のうち)
達成

西部地域のまちづくりに参加した区民が「当該まちづくりが有効である」、または、「必要である」と考える割合：70%以上

66.0%
(委員15名へのアンケート:7名回答)
未達成

- ・部会委員(各地域代表)と積極的に連絡を取り、地域ごとのワークショップを開催し、「アクションプラン」の策定を促進
- ・関係機関と連携し、協議会(部会)で情報提供を実施

経営課題2-1

こどもとおとなが
お互いに元気に
なれるまち

複数年目標

アウトカム
(中長期的指標)

●子育てが長期的な視点でと
られ、地域の多様な団体
と行政により様々な施策が実
施され、子育て環境が整備さ
れていると感じる区民の割
合：2年度までに70%

60.4%
(区民アンケートの
子育て世代53名のうち)

●区内の各地域に「こどもの
居場所」がつくられ、地域に
おいてこどもとおとなの交流
が進み、生活習慣や学習習慣
を身につけ、こどもが元気に
なったと感じる区民の割合：
2年度までに60%

30.2%
(区民アンケートの
子育て世代53名のうち)

順調でない

既存事業の周知を図り、区民全体
に情報が行き渡るよう取り組む

検討
項目

あらゆる世代が子育てに
関わっていくための
切れ目のない施策の推進

地域の誰もが自由に集まれる
「居場所」づくり支援

具体的取組

①区内在住の乳児（満1歳未満）を養育
している家庭のうち、希望する家庭へ
地域訪問員（こんにちは赤ちゃん訪問
員など）を派遣 109件実施

②-1 専門的家庭訪問支援事業：1歳ま
で延長(対象者に毎月訪問) 199件訪問

②-2 3か月健診時に授乳等の相談支援
24回 18回実施

③4・5歳児就学前子育て相談事業 実施

④子育て情報マップ
子育て情報を区HPで発信
SNSの活用・子育て出前講座等 HP5回
出前12回
実施

⑤-1 2時間単位の短時間一時預かり保
育事業 広報紙やSNS等を活用し、周
知を強化 未実施

⑤-2 小規模保育所整備 1か所

居場所設置・運営に関する助言などの支援 実施

・アドバイザー事業者を通じて、居場所運営団体に対
し、居場所運営のノウハウに係る助言を実施
・学習支援活動を行う居場所運営団体に対して開設に
係る備品購入等を補助 実施

プロセス(過程)指標

単年度
目標

振り返り結果

①赤ちゃん訪問員からの情報提供により
子育てサロン等関係施設を利用したと答
えた保護者の割合：50%以上

72.9% (117名のうち)

達成

②-1 事業導入時と終了時に実施し、導
入による変化で「育児に自信が持てるよ
うになった割合」：60%以上

70.8% (199名のうち)

達成

②-2 助産師相談利用者満足度:90%以上

99.2% (104名のうち)

達成

③相談対象者のうち、伴走的な支援を行
うことで支援機関に繋がった割合：
80%以上

98.0% (282名のうち)

達成

④子育てサロンのアンケートで出前講座
やホームページ上の子育て情報が役立っ
ていると感じる割合：60%以上

86.0% (141名のうち)

達成

⑤一時預かり保育事業利用者の1か所あ
たりの年間延べ人数：昨年度比3%増加

業者の応札がなく
実施に至らず

未達成

区独自の一時預かり事業については
保育ニーズの変化に伴い、令和2年度
より廃止する。残る保育ニーズの対応
については、大阪市一時預かり事業の
周知、利用を求める

居場所の新規開設:
6地域

3地域

未達成

・長期的な視点で新規開設に向けた
サポートを実施
・各居場所運営団体が継続的で自立した
安定的な運営ができるように助言等実施

振り返り結果

①-1 情報モラル:93.4% (2,817名のうち)
いのちと性:93.9%(2,010名のうち)
①-2 86.9% (145名のうち) 達成

②-1 50% 未達成
②-2 87%

14.8% (27名のうち) 達成

3回実施 達成

未測定 **コロナウイルス感染症
拡大防止のため中止**

96.8% (62名のうち) 達成

50.1%(区民アンケート
363名のうち) 達成

100% 達成

95.7% 未達成

81.8% 未達成

100% 達成

プロセス(過程)指標

①-1 ゲストティーチャー授業受講後、内容を理解したと回答した割合:75%以上
①-2 鑑賞教育の実施後に、豊かな情緒や感性を育むことができ、自分の大切さとともに他の人の大切さを考えることができたという回答した割合:75%以上

②-1 絵本読み聞かせ事業の取組が、子育てに絵本を取り入れるきっかけになると思う」と回答する参加者の割合:60%以上
②-2「事業の取組に参加したことで、子どもと触れ合う時間が増えた」と回答する参加者の割合:60%以上

③中学生勉強会に参加登録後、定着しなかった中学生:20%以下

④地域で実施する体験型調理実習:3回以上

①子ども・青少年の健全育成に関する取組に参加したいと思ったという回答する人の割合:30%以上

②「地域のコミュニケーションが活性化されていると感じる」と回答する地域住民の割合:50%以上

③「学校を活用した地域連携事業を知っている」と回答する区民の割合:30%以上

①学校・地域の実情に応じた教育が行われたと感じる「保護者・区民等の参画のための会議」の委員の割合:100%以上

①学校の実情に応じた教育が行われ教育内容がより充実したと感じる小・中学校長の割合:100%以上

①委員を務める学校において、学校の実情に応じた教育が行われ教育内容がより充実したと感じる小・中学校の学校協議会委員の割合:90%以上

②区職員からの学校協議会施策に関する説明・情報提供は、学校協議会について理解を深めるのに役立ったと感じる学校協議会委員研修会に参加する委員の割合:80%以上

具体的取組

①-1 ゲストティーチャー派遣事業 82回
①-2 鑑賞教育事業 12回実施

②絵本の読み聞かせ事業 実施

③東淀川区中学生勉強会事業 76回実施

④体験型食育推進事業 3回実施

①青少年育成推進事業 開催中止

②校庭等の芝生化事業 1校実施

③学校を活用した地域連携事業
「はぐくみネット事業」 各16校
「生涯学習ルーム事業」 実施
「学校体育施設開放事業」 23校実施

①区教育会議 2回
区教育行政連絡会 3回

②学校協議会への補佐
委員研修 9回

検討
項目

「生きる力」を
身に付けるのに重要な
自尊感情の向上

子育て世帯を含む
地域住民の交流促進

分権型教育の推進

経営課題2-2

すべてのこどもが「生きる力」を身につける「子育て」「共育」のまち

複数年度目標

アウトカム
(中長期的指標)

すべてのこどもが「生きる力」を主体的に身に付けられる子育て・教育環境が地域において整っていると感じる区民の割合:2年度までに50%

35.8%
(区民アンケートの子育て世代53名のうち)

順調でない

経営課題3-1

共に支え合い
共に生きるまち

検討
項目

具体的取組

プロセス(過程)指標

単年度
目標

振り返り結果

複数年度目標

アウトカム
(中長期的指標)

身近な地域の中で、
「声かけ」、「見
守り」、「助け合
い」、「支え合
い」を実感してい
る区民の割合：
2年度末までに
70%

プラン2.0

47.4%

順調でない

複合課題世帯
への支援

「総合的な支援調整の場
(つながる場)」を開催

25回開催

要援護者支援に係る弁護士相談
(弁護士派遣)

2事例 2回

つながる場参加者アンケー
トを実施し、有効と感じる
方の割合：90%以上

98.6%
(149名のうち)

達成

生活困窮者の
自立支援

東淀川区生活困窮者サポートネット連
絡会(困サポ)を開催

2回開催

地域で孤立した生活困窮者の早期把握
と自立のための取組を推進(困サポと
支援会議を活かし、関係部署と連携)

実施(相談件数495件)

他部署からの連携による相
談者の割合：40%以上

28.7%

未達成

・窓口認知度向上を踏まえ、プロセス指標の再考
・直接相談に来られない方への支援を強化

要援護者の見守り
活動等への支援

・見守り相談室で実施している個人情報提供
に係る同意確認、要援護者への訪問支援
・行方不明者情報のメール配信などの取組支
援(実施事業者との調整会議など)

実施(同意6,050件)

・様々な人による多様な見守り活動及び
つながりづくりの支援
・民生委員への要援護者情報の提供
・企業との協定による見守り
・見守りキーマン、救急カールの広報周知

実施(キーマン-契約者1,342名)

要援護者の見守り活動につ
いて行政等から支援を受け
ていると感じる地域の割
合：80%以上

78.7%
(要援護者名簿を受領して地域の
見守り活動を行っている31団体の
うち22団体回答:複数回答含む)

未達成

地域福祉のコーディネーターと連携し、見守り
ネットワーク強化事業をはじめとした要援護者
の把握をより効果的に行うことで、地域でゆる
やかな見守りを行っていただけるよう支援

経営課題3-2

いきいきと暮らす
健康づくりに
取り組むまち

検討
項目

具体的取組

プロセス(過程)指標

単年度
目標

振り返り結果

2,566件

未達成

保健福祉センターで実施する各がん検診（胃がん・大腸がん・肺がん・乳がん）の受診件数：前年度実績以上(2,904件)

- ・医療機関での実施分を含めた全体としては増加傾向にはあることを踏まえ、プロセス指標を再考
- ・保健福祉センターでの受診者増につながる啓発活動を引き続き実施

いきいき百歳体操の場：47会場
(そのうち、新たないきいき百歳体操の内容を取り入れている場：10会場)

49会場
(18会場)

達成

地域で実施される様々な機会を利用して在宅医療等について啓発を実施：17地域

2地域

未達成

新型コロナウイルス感染症
拡大防止のため中止

健康寿命延伸への取り組み
いつまでもいきいきと
自分らしく過ごすための

在宅医療・介護連携の推進
高齢者等の

受動喫煙：妊婦や乳幼児を持つ養育者へ啓発活動

実施

禁煙指導：大学等と連携した啓発活動

実施

検診受診勧奨・啓発：乳幼児健診の受診対象者の保護者
に対しての検診受診啓発

実施

検診受診機会の拡大：レディースデイの設定、区内小
中学校・淡路出張所等での検診の実施、土日の総合が
ん検診の実施等

実施

介護予防活動：「いきいき百歳体操」等を通じた社会
参加への支援、サポーターの育成

実施

- ・地域の健康講座で、リーフレットなどを活用して
いきいき百歳体操の開催場所を新たに開拓
- ・いきいき百歳体操の内容再構築：認知症、閉じこ
もり予防となる内容(30分)を追加

実施

実施

体験型食育推進事業(2-2-1再掲)

実施

在宅医療・介護連携推進会議の実施
在宅医療・介護連携実務者会議の実施

実施

在宅医療等のリーフレットの配布等による啓発

実施

関係職種の研修を実施

対話研修会1回実施

様々な機会を利用し在宅医療等について啓発

実施

アウトカム
(中長期的指標)

自らの健康のために、検診の受診や生活習慣の改善、体力づくりなどに意識して取り組んでいる区民の割合：2年度末時点で70%以上

82.8%
(区民アンケート
406名回答のうち)

順調でない